

# 日本計量新報

計測と科学  
毎週日曜日発行  
日本計量新報社  
東京都千代田区神田錦町 3-11-8  
(武蔵野ビル)  
〒101-0054 TEL 03-3295-7871  
FAX 03-3295-7874  
http://www.keiryu-keisoku.co.jp/  
振替口座 00140-5-12935  
購読料年間 25,000円 (消費税別)

定量計量専用機  
**Pack NAVI**  
速くハカル、  
楽にツメル



Yamato  
大和製作株式会社 tel:078-918-6577  
http://www.yamato-scale.co.jp/

## 計行審計量標準部会開く 分光全放射束の校正開始

### 5つの標準物質の値付け実施など承認

計量行政審議会計量標準部会(高増潔部会長)が、2月16日、経済産業省別館で開催された。議題は、経済産業大臣から諮問された、JCS S(計量法トレーサビリティ制度)での分光全放射束の校正開始と5つの標準物質の値付け実施。質疑の後、一括して承認した。



開催された計量標準部会

1月31日付で経済産業大臣から内山田竹志計量行政審議会会長に諮問されたのは、JCS Sにおける特定標準器による校正の実施で、2月2日

#### 会長に報告し経済産業大臣に答申 計量行政室は答申を受けて告示へ

物質の値付けの実施は、▽フェノール6種混合標準液▽かび臭物質2種混合標準液▽ハロ酢酸4種混合標準液▽銀標準液▽亜塩素酸イオン標準液。同部会での承認(議決)が、計量行政審議会の議決になることから、計量

行政審議会会長へ報告し、経済産業大臣へ答申。計量行政室は答申を受けて関連の告示をする。議事は公開であり、会議の配付資料や議事録は経済産業省のウェブサイトで公開され、配付資料と議事録は、すでに公開されている(http://www.meti.go.jp/committee/gizi\_000/0004.htm)。

■分光全放射束の校正開始(新規)

製品ごとに多種多様なスペクトルを持つLED照明の普及にともない、光源のエネルギー効率や光の質(光源色)に対する顧客の品質要求が厳しくなっている。光源に対する正確な測光データが求められており、従来の国家標準にトレーサブルな全光束(lm)(ルーメン)測定に加えて光源色の測定ニーズが高まっている。光源色などの性能を正確に評価するために、分光測定に基づく評価が必要不可欠であり、従来の全光束標準ではなく、スペクトル情報を正確に与える分光全放射束標準の使用が必要である。

複数の光分野のJCS登録事業者から、分光

全放射束標準のJCS S化の要望が出ている。▽特定標準器自己校正測定装置、比較受光器、単色平行光発生装置、分光視感効率近似受光器、配光測定装置及び分光放射輝度照度測定装置であって、国立研究開発法人産業技術総合研究所が保管するもの

▽校正等を行う者経済産業大臣(ただし、計量法第168条の2の規定により国立研究開発法人産業技術総合研究所)

▽特定標準器による校正等を行う計量器||分光全放射束標準光源であって、校正範囲が波長において360nm以上830nm以下のもの

▽測定の不確かさ||特定標準器による校正等における相対拡張不確かさ(校正測定能力、k||2) 3.3%~4.9%(波長域に依存)

▽校正周期||3年 (②へつづく)

## 第68回計量士国家試験

### 3月4日(日)、全国9カ所で開催 出願者は7130名、前年比95.2%

第68回計量士国家試験(93.1%)、環境計量の9カ所。が、3月4日(日)に全国9カ所(騒音・振動関係)1カ所で開催される。今年の出願者数は、7130名(99.1%)、一減少した。対前年比95.2%。内訳は、環境計量北、関東、中部、近畿、2%。内訳は、環境計量北、関東、中部、近畿、格で、毎年6000から7000人ほどが受験し

環境計量士(濃関係)、環境計量士(騒音・振動関係)、一般計量士の3つの区分がある。出願者数は、全体では2009(平成21)年度は1万1003人だったが、2010(平成22)年度以降、8年連続して前回を下回っている。区分(騒音・振動関係)と一般計量士は、ほぼ横ばいだが、環境計量士(濃

環境計量士(濃関係)が前年比93.1%と大きく減った。合格率は15%前後、実際の受験率は66%前後、合格率も15%前後である。前回の受験率は67.6%、合格率は17.4%だった。

全紙面3月のIDとPW  
ID: 5138  
PW: bhc5pet3

#### 今週の主な記事

- 計行審計量標準部会開く、計量士国家試験
- 全国計量行政会議開く(2)、計行審計量標準部会開く(つづき)
- 田中館愛橋のつづき
- 連載寄稿「廣田茂」(2)
- 社説、つづきの計量のつづき
- 郵便部長と発送会社役員が贈収贈一はからな
- かっただめに巨額の損害

**SHIMADZU**  
Excellence in Science

分析天びん  
Advanced Performance UniBloc Balances

## AP シリーズ

NEW

高速応答、高安定性を実現  
分析天びんの新たなステージへ

### High Speed

微量計測(1mg~)の表示反応時間を約5分の1に短縮。はかりとりの作業効率が大幅にUPします。

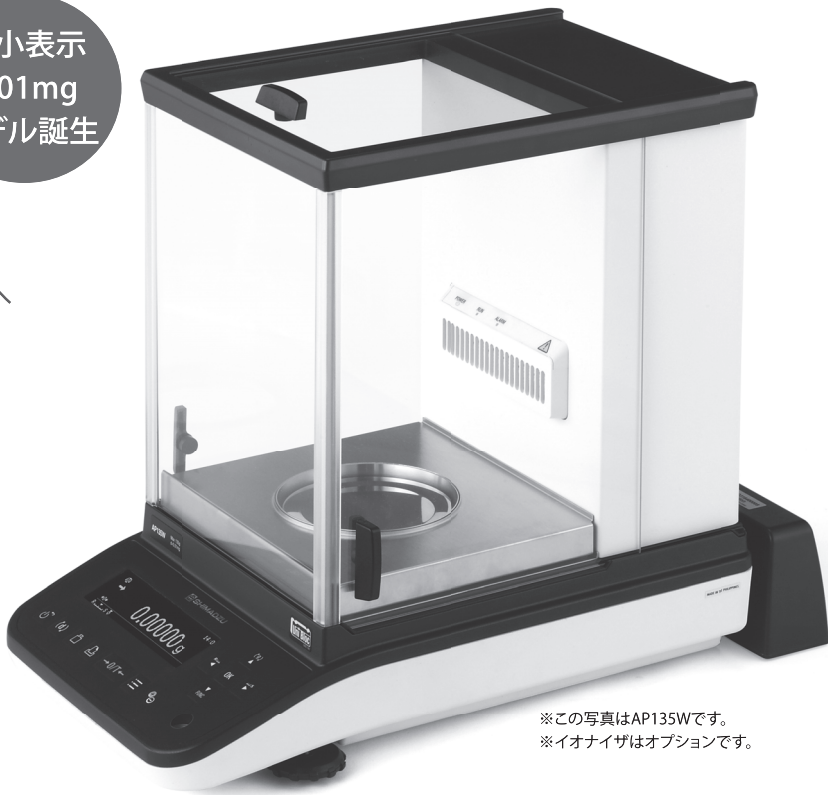
### Stress Free

イオナイザSTABLO-APを装着可能。静電気による影響を排除し、手間なく信頼性の高い計量を実現。

### For Regulation

LabSolutions Balanceに連動することにより、検査機関でのISO17025、製造業でのISO9001・ISO14001、製薬業界でのGLP/GMP・USP(米国薬局方)等の計量データインテグリティのための各種規制に対応することができます。

最小表示  
0.01mg  
モデル誕生



※この写真はAP135Wです。  
※イオナイザはオプションです。

もっと詳しく知りたい方は

株式会社 島津製作所 分析計測事業部

http://www.an.shimadzu.co.jp/